

優しい笑顔に秘めるのは、熱い想い



演劇ファミリー Myu
ここで逢えたら vol.4 新キャスト

小池伸二さん

「大人の本気を見せ、子どもたちが憧れる舞台をつくりたい」

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.74

まだまだ暑い日が続きますね。真夏の日差しを浴びて、まるで金平糖のような百日紅(さるすべり)の花が咲いています。背高のつぼの木に、ころんと咲いている姿がとても可愛いらしいです。機会がありましたら、ぜひ見てみてくださいくださいね。今回は9月に「ここで逢えたら…Minole」の公演があり、新規キャストで出演する堅倉地区にお住いの小池伸二さん取材します。

やるなら本気で 夢中になれ

「私がみの〜れと関わったのは、息子がみの〜れで開催された演劇ファミリー Myu のワークショップに参加したのがきっかけでした。別に Myu の存在を知らない訳ではなかったし、家が近所なので来れない距離ではなかったんですけど、近寄りがたかったですね」と話す小池さん。実は、中学・高校・社会人と演劇部に所属していたそう。高校では演劇部を創部するほどの熱中ぶりだったとか。しかし、夢中になっていた演劇活動から一線を引いてからは、自分がまた演劇の世界に戻ることは無いと考えていたそう。そのため、Myu という存在にも、あまり近づかないようにしていたと静かに語った。

しかし、息子さんがきっかけで、また演劇の世界に足を踏み入れることになった小池さん。「ワークショップに参加するとお約束のように Myu に入りたいと息子が言い出しまして…そして私も、作品制作のサポートチームとしてファザーズに入り裏方を手伝いはじめました」と話してくれた。息子さんが Myu に入りたいと言ったとき、小池さんは「やるなら中途半端にやるな。本気でやれ。私は昔舞台上に本気になっていた人間だから、生半可な覚悟でやるなら許さないぞ」と言ったのだと話す。しかしそれでもやると言った息子さんを応援しよう、裏方として Myu をサポートするようになったそう。そして間近で舞台上に触れる日々の中で、やはり舞台上に立っていた日があると、懐かしくなったという。そしてついに、Myu のオリジナルミュージカル「ヒーロー」時が経っても色褪せない「でキャストとして舞台に立つことになった。「一度は演劇をやめる決意をした自分を舞台に引き戻したみの〜れ、そして Myu はやはり魅力的な場所だったんでしょね」と笑顔で話してくれた。

ここで逢えたら…「04」が上演される。小池さんと、前号で取材した加藤彩子さんが新たに加わり、新しい風を吹き込む。しかし、どこか懐かしさを感じる「ここで逢い」が見られることだろう。そこで、小池さんに意気込みを聞いてみた。

「ふだん、Myu の芝居は子どもたちが中心となる舞台です。しかし『ここで逢い』は20才以上の大人が芝居をします。大人の本気を見せ、子どもたち自身が大人になった時に、この舞台上に立ちたいと思わせる憧れの作品にしたいですね」と語った。

また、みの〜れについては「私にとってみの〜れは家族同然なところ。会いたい人がいて、話したい人がいて、やりたいことがあって、それをやらせてくれるところなんです。みの〜れと Myu という場所がなければ、私は再び舞台上に帰って来ることは無かった。こんな場所が近くにあることは、貴重だと思っし、ありがたいですね」と語ってくれた。そんな小池さんの熱く語る姿は、輝いていた。